

# 地域産業人の育成をと 地元企業より

## プロジェクトを寄付していただきました。

### 地域産業担う人材育成を

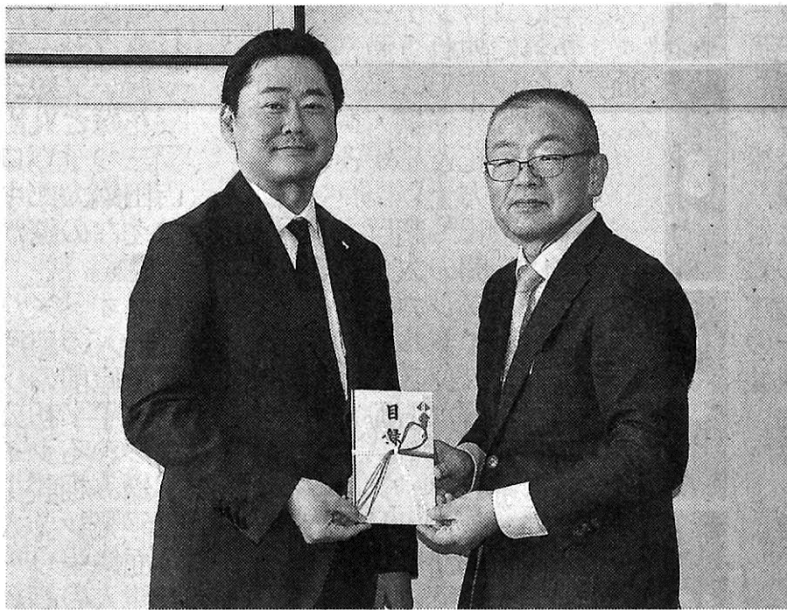
工業保温ササキ

八十二銀行私募債活用し寄付

飯田市松尾清水の建設業・ササキ保温工業は3月27日、八十二銀行の「地方創生・SDGs応援私募債」を活用し、飯田OIDE長姫高校にプロジェクト1台を寄付した。佐々木志郎社長が同校を訪れ、松原均校長に目録を手渡した。

同私募債は、八十二銀行が発行企業から受け取る引き受け手数料の一部を割り引き、発行企業が割り引き分で指定する企業や教育文化施設に学校用品などを寄贈する商品。

同社は建設業のうち熱絶縁工事業にあり、従業員の8割



目録を手渡す佐々木社長(左)

が技術者。人材育成の重要性を日頃からの総合技術校として

生徒に専門的な学びを提供する同校への寄贈を決めた。

松原校長は「さまざまな場面で地元の方々に助けていただいている。地域の産業に寄与する人材を皆さんと共に育成していきたい」と感謝を述べた。佐々木社長は「建設業を担う子どもたちのために、できることがないかと考えていた。少しでも役立てば」と話していた。



# 生徒会

## 交通安全啓発活動を実施

2024年(令和6年)4月17日水曜日

南信州新聞

### ヘルメット着用を

OIDE 長姫高 自転車利用者に啓発

春の全国交通安全運動の最終日の15日、飯田OIDE長姫高校生徒会は校内で自転車のヘルメット着用を呼び掛ける啓発活動を行った。登校時間に合わせて校門周辺に立ち、昨年4月から努力義務化されたヘルメット着用の順守と自転車の安全利用を呼び掛けた。



自転車利用者に啓発物を配布した

生徒会主体の活動に飯田署や飯伊交通安全協会、飯田市、県なども協力し、計19人で啓発。登校してきた生徒にチラシや自転車用夜光反射材などを配った。参加者たちは「自転車に乗るときはヘルメットを着用して」などと声を掛け、

啓発物を配布。昇降口近くにはのぼり旗を掲げ、自転車利用者以外にも交通安全を呼び掛けた。

生徒会長の今村紅令羽さん(17)は「ヘルメットをかぶっている人が少なかったのは残念。ヘルメット着用とともに、運転中のスマホやイヤホンはやめて安全に登下校してほしい」と話していた。

同署交通課の前沢嘉信課長は「自転車も自動車やバイクと同じ車両の仲間。ヘルメット着用はもちろん、一時停止などの交通ルールも守ってほしい」と話していた。

# 池上咲さん 全国学生書道展学年優秀賞受賞

## 小中高生16人が入賞

真浄寺書道会 全国学生書道展の結果

第60回記念全国学生書道展(公益社団法人創玄書道会主催)はこのほど、東

京都新美術館で開かれた。飯田下伊那関係では喬木村の「真浄寺書道会」に通う小〜高校生の16人が入賞した。

文化庁、東京都など後援。幼児から高校生まで約2万点の応募があった。指導

する永井真寿任職は「年々レベルも上がっている。新しいことを大切にしつつ、基本に忠実に取り組んでほしい」と話していた。



毎日新聞社賞の奥村さんの作品



金剛峯寺賞の佐藤さんの作品

飯伊の入賞者は次の皆さん(敬称略、校名・学年は昨年度のもの)。

▽毎日新聞社賞 奥村優人(喬木中3年)▽金剛峯寺賞

佐藤光莉(喬木小5年)▽学年優秀賞

奥村未来(飯田女子高2年)、池上咲(飯田OIDE長姫高2年)、羽生彩華(飯田

高2年)、奥村芽生(喬木中1年)▽奨励賞 池田あさ美(飯田女子高2年)、富田珠心(同)、木下里依紗(喬木中1年)、奥村陽菜(同)、奥田心優(同)▽湯

澤心美(喬木小5年)、奥村心嘉(同)、玉置七菜歩(同)、相

澤一花(同)、小宮山凜々花(鼎小4年)

# 豊丘村道の駅でテックレインジャー

## 旬の味覚に多彩なステージ

### 豊丘村 道の駅で6周年感謝祭

豊丘村の道の駅「小さな拠点」の中「南信州とよおかマルシェ」で20、21の両日、開駅6周年を祝う「感謝祭」が開かれた。旬の農産物や加工品などの販売や地元高校生らによるステージ発表などが行われ、住民や観光客ら多くの来場者でにぎわった。

同道の駅は、中山間地の中心部に生活関連施設を集める「小さな拠点」の中心として、神稲の竜東一貫道路沿いに村が整備し、2018年4月27日にオープン。農産物直売所やレストラン、地元スーパーなどの店舗に加え、コミュニティバスの交通結節点や観光窓口などの機能を備える。

感謝祭では2日間、にわたり多彩なイベントを展開。地元女性農家らが手作りした五平餅やあんころ餅をはじめ、フルーツパフェや道の駅オリジナル「桃の誘惑」などを販売した。村内で収穫したばかりのタケノコを使った「竹の子汁」の振る舞いには長い列ができ、好評を得ていた。



感謝祭を盛り上げるステージ発表

生によるテックレインジャー、飯田アリーディングショー

女子高校生によるテックレインジャー、飯田アリーディングショー

「などが行われ、老若男女の笑顔を誘って祭りに花を添えた。

片桐明駅長は「地域の皆さんをはじめ、多くの人たちに支えられ6周年を迎えられた」と感謝し、「引き続きご愛顧いただけるよう取り組んでいきたい」と話した。